

教師が使う I C T 研修 4 （ 1 部）

つまずきをなくすために
～手元の動きを大きく映して～

教師が使うICT研修4では、「つまずきをなくすために～手元の動きを大きく映して～」というテーマで、演示が必要な場面について考えてみましょう。

（★）

研修のゴール

手元を大きく映し、ゆっくりと動きを見せ、分かりやすく説明すれば、正しい手順を確実に理解させることができる。

この研修のゴールは、「手元を大きく映し、ゆっくりと動きを見せ、分かりやすく説明すれば、正しい手順を確実に理解させることができる。」です。

(★)

このような場面では、
どのように指導していますか？

言葉だけですか？

教卓の周りに子どもを
集めてですか？

机間指導で個別にです
か？



彫刻刀の使い方

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

演示をしたり、手元の動きを見せたりしたいときは、どのように指導していますか？

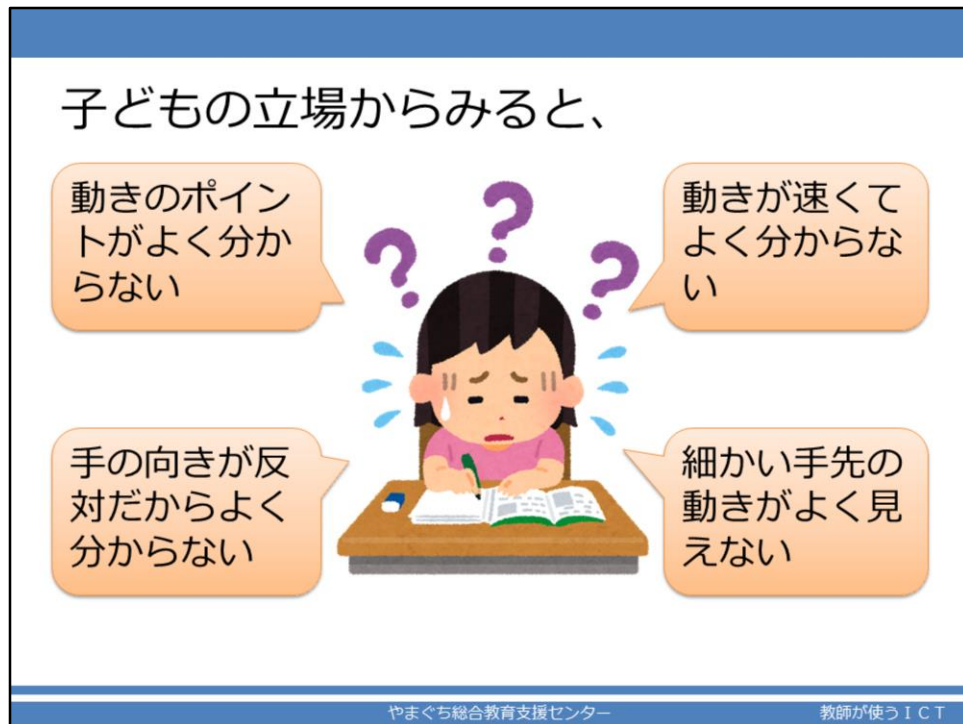
(★)言葉だけで説明しますか？

(★)教卓の周りに子どもを集めて指導しますか？

(★)机間指導で個別に指導しますか？

いずれの方法にも限界があります。

(★)



では、先生の手元の動きを見ている子どもたちはどんな思いでそれを見ているのでしょうか？

- (★)動きのポイントがよく分からない
- (★)手の向きが反対だからよく分からない
- (★)動きが速くてよく分からない
- (★)細かい手先の動きがよく見えない

このような思いをしている子どもたちがいるかもしれません。

(★)

I C T機器を活用して

手元の動きを大きく映す



のこぎりの使い方

拡大提示できる

子どもを移動させずに見せることができる

子どもと同じものを使って見せられる

子どもの目線で見せられる

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うI C T

このような指導場面で、ICT機器を活用して、手元の動きを大きく映すと、子どもたちに正しい手順を確実に理解させることができます。

このような場面でのICT活用の主な効果としては、

(★)大きく拡大提示できる。

(★)子どもを移動させずに見せることができるため、時間短縮にもなる。

(★)特別な教具を使うのではなく、子どもと同じものを使って見せることができる。

(★)そして、ICT活用でしか実現できないこととして、子どもの目線で見せられる。

というような効果が考えられます。

のこぎりの使い方においても、のこぎりを引くときの最大のポイントは真上から見て引くことですが、ICTを使わずに演示すると誰一人としてこの目線で見ることにはできません。

(★)

手元の動きを大きく映すために利用できる I C T 機器

実物投影機



パレットの使い方

やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

それでは、次に、手元の動きを大きく映すために利用できるICT機器をいくつか紹介します。

最も適している機器は、実物投影機です。実物投影機と電子黒板またはプロジェクタを直接つなぐだけで使用できます。

(★)

手元の動きを大きく映すために利用できる I C T 機器

タブレット



一次方程式の解き方

やまぐち総合教育支援センター

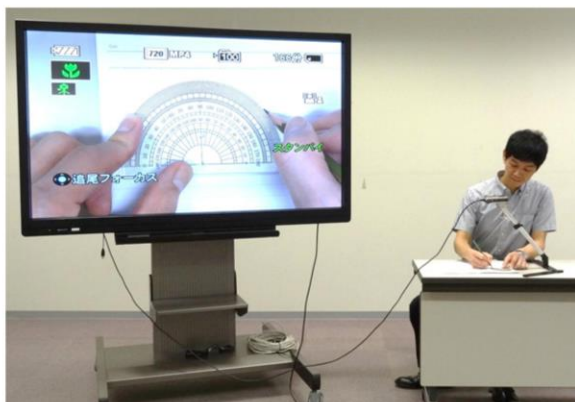
教師が使う I C T

最近では、各学校にタブレットも入ってきました。この写真にもあるような簡単な台を作れば、実物投影機としても活用できます。

(★)

手元の動きを大きく映すために利用できる I C T 機器

デジタルカメラ



分度器の使い方

やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

実物投影機やタブレットがない場合は、デジタルカメラでも代用できます。この写真のように脚を設置すると、使いやすいです。

(★)

手元の動きを大きく映すための I C T活用のポイント

- ① よくわかるように手元を映す
角度や大きさを変える
- ② ゆっくりと動かす
- ③ 何に注目すればよいか解説を
加える
- ④ 必要に応じて動画として残し
ておく



なみ縫い

最後に、手元の動きを大きく映すためのICT活用のポイントをまとめます。

(★)手元の動きがよく分かるように、映す角度や大きさを調整します。

(★)ゆっくりと動きを見せます。

(★)何に注目すればよいか解説を加えます。

(★)録画機能がついている場合は、動画として残しておくことも可能です。動画であれば、一時停止やスロー再生などもできます。

ICT機器を効果的に活用して、子どもたちに正しい手順を確実に理解させましょう。

(★)

2部では、つまずきをなくすために、実際に手元の動きを大きく映す体験をしてみましょう。

2部では、実際に手元の動きを大きく映す体験をしてみましょう。
(★)